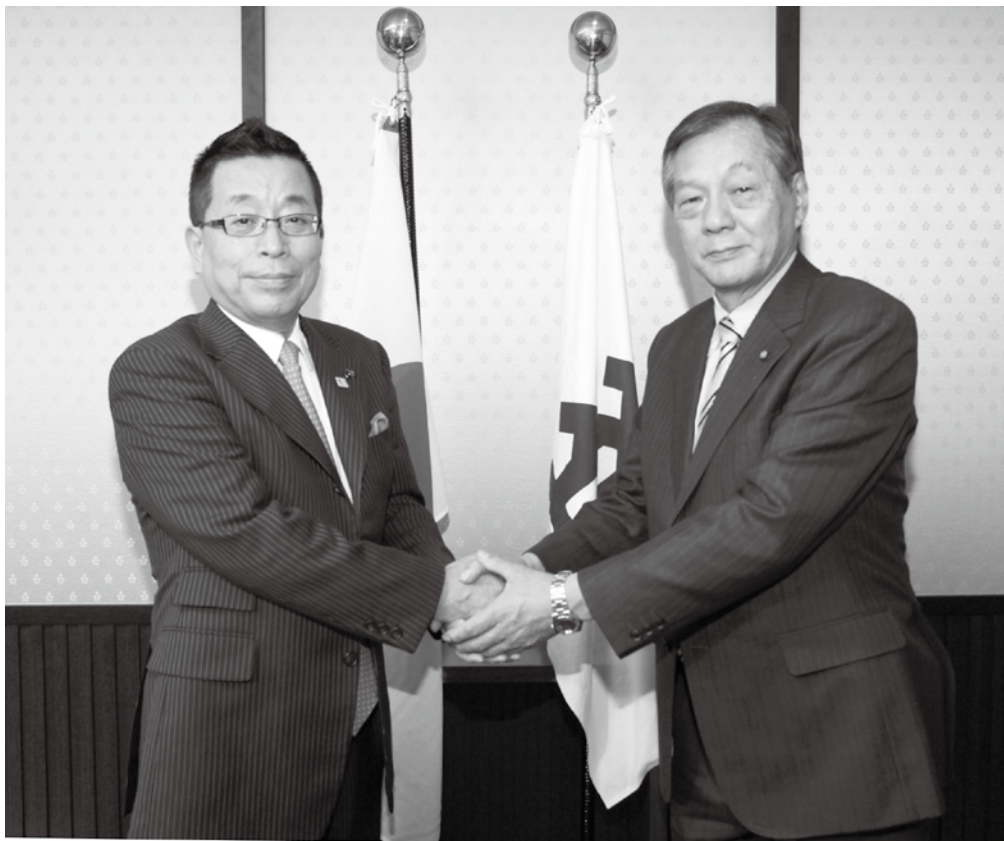


新春対談

市長と議長 高山市を語る

1月1日から8日まで放送されたケーブルテレビの
市政情報番組「ハイ、市役所です」で、國島市長と中田
議長が対談しましたので、その内容を紹介します。



くにし まみちひろ
國島芳明 市長

昭和25年1月15日生まれの66歳
平成22年9月に第10代高山市長に就任（2期目）

なかだ せいすけ
中田清介 議長

昭和23年8月25日生まれの67歳
平成27年5月に第82代高山市議会議長に就任

平成27年を振り返る

―まず、昨年一年間を振り返ってくだ
さい。

市長 昨年は全国育樹祭やデンバー
市との姉妹都市提携55周年などいろ
いろありましたが、大きく取りまと
めて言えば合併して10年が経過し、
第八次総合計画や地方創生が始動し
て、新しいステージに向かった年で
した。

議長 そうですね。合併して10年が
経過し、新しいステージに踏み出しま
したね。議会としましても議会改革
の第2ステージが始まりました。ま
た、デンバーの歓迎式典でも触れまし
たが、姉妹都市を提携した55年前の
1960年はケネディ大統領がニュー
フロンティアを掲げた時でもあり、一
層の感慨深さを感じました。

―**昨年の秋の高山祭では、祭屋台のつ
「大八台」が改修を終え、5年ぶりに
全11台が勢ぞろいしました。その大八
台では約半世紀ぶりにお雛子の生演
奏が復活したほか、西小学校の児童が
屋台に乗せてもらうなど、多くの話題
がありました。**

議長 春も秋も、高山祭のエリアで
ある中心市街地は高齢化率が約41
%です。祭行事を継続する基盤が揺



▲議場で行われたデンバー市長歓迎式

らいでいる中、児童を屋台に乗せる
ことなどは大変画期的なことでした
ね。高山市は観光で生きているまち
ですから、祭を支える人と資金のこ
となどはこれからの大きな課題の一
つですね。

市長 私もそう思います。少子高齢
化が進む中、いかにして先人が築か
れた歴史や伝統を継続していくか。
その意味では秋の高山祭の氏子の皆
様の決心はすばらしいです。

―**今年の4月29日、30日は市制施行80
周年記念として、春と秋の祭屋台のか
らくり競演が陣屋前にあります。**

議長 戦後は互いに屋台を並べ合う
こともありました。今回は屋台組の皆
様が自主的に練られて盛り上がり